

4 夏の溪谷をわたしと恋人ジョンは

ああ 夏の溪谷をわたしと恋人ジョンは
深い川に沿ってよく歩いたものです
足元の花々と頭上の小鳥たちが
愛し合う二人を祝福して 楽し気にうわさ話をするのでした
わたしはジョンの肩にもたれて甘えました 「ね～え ジョニー」 5
でも ジョンは怒ったように顔をしかめて立ち去りました

ああ クリスマス前のあの金曜日をよく覚えています
二人で お昼の慈善ダンスパーティに出かけました
フロアはツルツル バンドはガンガン鳴って
ジョニーはとてもかっこ良くて わたしは鼻高々 10
「もっと強く抱きしめて ジョニー 朝までこうして踊りましょう」
でも ジョンは怒ったように顔をしかめて立ち去りました

あのグランドオペラでのことも決して忘れることはできません
すてきなスターたちの歌声が響き
ダイヤモンドと真珠が 15
金銀織りなすシルクのカウンスにきらめきました
「ああ ジョン 天にもものぼる心地」と わたしはささやきました
でも ジョンは怒ったように顔をしかめて立ち去りました

ああ でも彼は花園のように華やいで
あの大きなエッフェル塔のようにすらっと背が高く 20
ワルツの調べが長いプロムナードに震えるように鳴りだした時
ああ 彼の瞳と微笑みがわたしの心に突き刺さりました
「結婚して ジョニー 永遠にあなたを愛し 従うわ」
でも ジョンは怒ったように顔をしかめて立ち去りました

ああ 昨晚わたしはあなたの夢を見たわ 愛するジョニー 25
あなたの片腕にはお日様が もう一方にはお月様が輝いて
海は青く 草地は緑
星々が丸いタンバリンを鳴らしていました

一万マイルの深い地中にわたしは眠っていたの
でも あなたは怒ったように顔をしかめて立ち去りました

30

(山中光義訳)